

No. 914

夢の球宴

—オールスター戦—

1971年度オールスター第3戦は、7月20日舞台を後楽園球場に移して行なわれ3-2でパ・リーグが勝ち2勝1敗と勝ち越しました。

1勝1敗で迎えた第3戦は、セ・リーグが平松、パ・リーグは皆川を先発に立て必勝を期します。試合は平松の立ち上がりをとられたバが2回野村、大下の短長打でチャンスをつくり、加藤の投手強襲安打と平松のエラーで2点を先取、3回にも張本の左翼1号ホームで3点目をあげました。一方、セは4回バの二番手山田から長島の左中間に2ラン・ホームによる2点だけにとどまり、この結果通算成績はバの31勝20敗3分け、なお、この日も登板した江夏は6回江藤を三振に打ちとり通算15連続三振と、自己の記録を更新しました。

暑い夏

夏。日本民族は今年もまた大移動をはじめた。世界が目を見はる高度成長は日本人をレジャーにかりたて、過密レジャー日本の今日を生みだした。暑さをかきたてるように夏を売り、夏をかせぐ氷売が海辺の人なみをかきわけて歩く。

海が濁り、大腸菌に汚れていても、人々は海に憩い海辺に群らがる、平和な日本。

この一週間、世界は揺れ動いた。

アメリカのニクソン大統領が来年5月までに中国を訪問すると発表。そんなことになるとは寝耳に水の佐藤総理沖縄では住民の不安をよそに第二次毒ガス移送が始まった。

日本の中もじっとしてはいなかった。北海道歌志内炭礦でガス突出事故30名が死亡。

同日曜日、兵庫県新舞子海岸では集中豪雨による土砂くずりで、海水浴客数10名が生理め、10名が死亡。

欠陥国土に恐怖レジャー。人々は何も知らぬ気到大平のレジャー、ニッポンをむさぼる。長く暑い夏の日が終って、それぞれの思い出をきざんだごみの山が海辺に残る1971年暑い夏の姿である。